

小木曾講師が日展特選

本学関係 原さんら10人入選

第四十日日展の入選者が十月二十三日までに順次発表され、本学関係では金沢学院大学美術文化学部的小木曾講師の日本画「春を呼ぶ」が選ばれました。また、三人が新入選、五人が再入選しました。



小木曾さんの作品「春を呼ぶ」



原さんの作品「洗濯機」

小木曾講師の作品は、雪解けを迎えた大地に草が生え、

書道や家庭科を体験

東高にベトナムの高校生来訪

政府の21世紀東アジア青少年大交流事業で来日したベトナムの高校生一行三十二人が十月三十一日、金沢学院東高校を訪れ、体験授業などを通じて日本の生活や文化に理解を深めました。多目的ホールで行われ



た歓迎会「写真上」では石田毅士郎校長の挨拶に続いて邦楽部やチャダンズ部が演技を披露しました。ベトナムの高校生は書道、家庭科の授業を体験し、英語の授業では母国や自分の紹介を英語で行い、交流を深めました。

花が咲き始めた光景を描いたもので、ルーツが雪国の繊細な感受性が生かされていると評価されました。再入選した原千紗さんの「洗濯機」は特選に準ずる基本作品に選ばれ、十月三十一日から東京の国立新美術館で始まった本展をはじめ全国の巡回展で展示されます。このほかの本学関係の

入選者は次の皆さん。
【新入選】 洋画 村田亜弥「会話」、陶芸 尾蔵浩平「Flow(フロウ)」、菅谷一陽「NATIVE(ネイティブ)」、【再入選】 洋画 青木良識「市場」、日本画 本明千怜「ゆうゆう」、山内登喜雄「黒い鶏」、平木孝志「戯れる」、陶芸 野中彩「蒼に溶ける」、魚津悠「Line maze(ラインメイズ)」

加賀江沼の歴史と文化探る

美術文化学部公開講座で2教員

金沢学院大学美術文化学部の公開講座「加賀・江沼の歴史と文化」は十月二十五日、北國新聞会館にあるサテライト教室で開かれました。

小嶋芳孝教授が「道君と江沼臣の争いから見た古代の東アジア世界」のテーマで講演し、弥生から古墳時代の加賀・江沼は朝鮮半島南部と接触を



質問に答える小嶋教授



講義を行う馬場先准教授

神宮大会出場ならず
北陸大学野球秋のリーグ戦で優勝した金沢学院大学は十月三十一日、名古屋市内瑞穂公園野球場で行われた愛知・東海・北陸三連盟王座決定戦に臨み、1回戦で愛知大学野球連盟2位の中部大学と対戦しましたが2回で敗れ神宮大会出場はなりませんでしたが、金沢学院は二回、ヒットとスクイズなどで先制しましたが途中逆転され、九回の追撃も及びませんでした。



対中部大学戦 2回裏、スクイズバントを決めて先制 = 名古屋・瑞穂公園野球場

15日に高岡で公開講座
金沢学院大学美術文化学部の公開講座「富山県の歴史と文化」は十一月十五日午後二時から、高岡市の富山新聞文化センター1階高岡教室で開かれます。問い合わせは076(229)8718へ。

【URL】

<http://www.kanazawa-gu.ac.jp/>【携帯 Web】<http://k-gu.jp/>